

**株式会社ジェイコム北関東**  
**(埼玉県央局、草加局、越谷・春日部局)**  
**2018年度放送番組審議会 議事録**

【日 時】 2018年11月9日(金) 14:00～16:00

【場 所】 株式会社ジェイコム北関東 越谷・春日部局 会議室

＜放送番組審議会委員＞

ご出席 (五十音順)

川 西	潤 一 様	小 松	政 毅 様
鈴 木	一 行 様	丸 岡	淳 様
三 輪	祐 子 様		

ご欠席 (五十音順)

尾 堤	宏 様	小 泉	隆 行 様
西 谷	友 孝 様		

- ・委員の互選と事務局からの推薦により、議長に丸岡委員が就任した。
- ・事業者側から現況報告及びJ:COMチャンネルの取り組みにつき報告があった。

【審議】(丸岡議長により進行)

■「デイリーニュース」について

(委員:高齢者のイベントを取材して欲しい)

- ・どのイベントも取材される立場の主催者は喜んでいる。テレビ取材が入ることによって、現場も良い緊張を持って事業に取り組むことができていると感じる。
- ・11/1 から共同募金が始まっているが、アナウンサーには赤い羽根を付けてニュースを読んで欲しい。
- ・草加グランドゴルフなど高齢者のイベントを取材して欲しい。

(委員:J:COMの取材についての地元の認識が上がってきている)

- ・「デイリーニュース」については長年の実績があり、安定してきている。
- ・スタッフの皆さんが地域のネタを細かく取り上げているので、地元での認識もかなり上がってきている。

(委員:同じような静止画はカット少なくゆっくり見せた方が良い)

- ・「ど・ろーかる」さがかなり洗練されてきている(見たいと思わせる)と感じる。
- ・取材すべきポイントの押さえ方の精度が上がってきている。
- ・ニュースの紹介をジャンル毎にまとめた方が観やすいと思う。
- ・イベントを紹介した際に静止画像を3~4枚使っていたが、カットが多すぎると感じた。1~2枚を長く見せた方が良いのではないか?

(受けて:議長)

- ・一般の視聴者はテレビ局の人が撮っているのに「なんで静止画?」と思ってしまうのではないか?

(委員:何があったかだけでなく主催者と参加者両方のインタビューがあり素晴らしい)

- ・「デイリーニュース」は完成の域に達していると思う。構成も、主催者側と参加者両方のインタビューを拾い上げており素晴らしい。
- ・赤い羽根以外にも、ピンクリボンやオレンジ、パープルリボンなど時節ごとに啓発運動があるので、アナウンサーが着けてはどうか?
- ・視聴者投稿については、年末などに特番を作れば投稿者も増えるのではないか?

(受けて:議長)

- ・リボンの件だが、季節やエリアによっていろいろな啓発運動があると思うので、リポーターやカメラマンが着けても良いのではないか?

(委員:サイドテロップの市の名前が小さくて見づらい)

- ・大きい祭りやイベントがどうしても中心になるが、「私たちの町会のお祭りは取材してもらえない…」という声も耳にする。地域に根差した小さいお祭りもマッピングやリスト化して、取り上げてはどうか?
- ・以下は一緒に視聴した私の子ども(高校生の娘)の意見。
  - 1)左上サイドテロップの市の名前が小さくつぶれていて読みづらい。どこの地域の情報かが一番気になるので、もっと大きく表示して欲しい。
  - 2)熱中症の話題があったが、VTR後にスタジオでアナウンサーが注意喚起しているにもかかわらず、注意喚起のテロップ表記が無かった。人命に関わる話題なので後スタジオ部分にも注意喚起のテロップを入れるべき。
  - 3)街頭インタビューの際、音声の差が大きくて聞きづらい。インタビュー対象者にマイクを持ってもらった方が良いのではないか?

## ■「言葉をひろう」について

(委員:もっと作りこんでブラッシュアップして欲しい)

- ・良い番組だが、いきなり始まるのが気になる。イントロで前説が欲しい。
- ・生の言葉は人の心を動かす。しかしながら、だらだら感があるので、途中で切ってキャスターが解説をいれるとか、構成などをもう少しブラッシュアップした方が良い。
- ・テーマソングが欲しい。良い番組なのでもっと作り込まなければもったいない。

(委員:伝えたい言葉は「間」を取って印象的に見せるべき)

- ・番組のテーマもわかりやすく、「言葉をひろう」というタイトルが良い。
- ・テロップ表記など演出面での工夫が欲しい。
- ・有料でもバックナンバーが見られるようにしていただきたい。

(委員:若くても人生哲学を持っているスポーツ選手などを取り上げて欲しい)

- ・いろんな人が観て共感できる良い番組だなと思う。
- ・登場するのは40歳～60歳の言葉に含蓄がある方だとは思いますが、高校生や大学生、20代でもそれぞれの人生哲学を持っている若い方(スポーツ選手など)も取り上げて欲しい。
- ・オリンピック出場選手であれば、ビフォー・アフターで2部に分けてインタビューをし、結果を踏まえて構成するような番組も見たい。

(受けて:議長)

- ・世界的なスポーツイベントでも、本番時は盛り上がるがイベントが終わると収束してしまうので、長期スパンになるが、皆が注目する前から取材をはじめ、終わってからも取材する、というのがケーブルテレビならではの番組作りではないか。

(委員:平日昼前など子育て主婦の時間帯にも編成して欲しい)

- ・15分弱で見ごたえのある番組だが、私としては途中で少しだらける部分もある。
- ・30代の子育て中のお母さんに視聴していただいたら、この監督の生き方に感動して「自分の息子もこういう学校に通わせたい」という感想を持たれた。
- ・ただメインの放送時間が夜なので、子育て主婦の時間帯としては午前10時台にも編成をしていただきたいとのこと。
- ・次回予告を入れてはどうか?多くの方に共感を与えられる番組だと思うので、編成時間帯やPRを工夫して欲しい。

(受けて:議長)

- ・内容が良いだけに、より多くの人が見やすい時間帯(深夜だけでなく昼前にも)に編成していただきたい。

・番組表にも目立つように「J:COMの一押し！」などマークしてはどうか。

(委員:メジャーでなくても地域の「凄い」人や活動を取り上げて欲しい)

- ・甲子園の優勝監督ながら、恩師の話などは他のメディアでもほとんど紹介されておらず、地域に密着しているケーブルテレビだからこそ取れたコメントで素晴らしい。
- ・残念なのは、チームが優勝したのは去年の話だということ。今年 4 月に卒業した優勝メンバーがプロの世界や巣立った先で頑張っている姿を紹介できればもっと良かった。
- ・人物を見つけ出すのが難しいと思うが、視聴者のネタ投稿で「メジャーじゃないがこの人は凄い」という人物や活動を掘り出すのも良い。大きいところや有名なものばかり追いかけるのではなく、「地域の星」にスポットを当てるのがJ:COMの役割ではないか。

(委員)

Q:取材先はどのようにして探しているのか？

(制作担当)

A:デイリーニュースで取材をする中から選定したり、地域プロデューサーから情報を得たり、人海戦術で苦労してネタを決めている。

(受けて:委員)

・各自治体の広報と連携をするのが良いと思う。

(受けて:委員)

・企業人は商工会議所に行けば情報を教えてもらえる。

(受けて:議長)

・褒章受章者も取材対象として検討して欲しい。

## ■その他意見交換

(委員:貴重な映像を活かしてお祭りダイジェスト番組を)

・「久喜ちょうちん祭り」を視聴したが、山車の間からの映像というのは、なかなか無い。観客は外からしか見ることができない。草加のよさこいもそうだが、祭りの中心から撮影できるカメラはすごく貴重だと思う。

・「お祭りダイジェスト」特番を作るなどJ:COMならではの映像をもっと活かしては？

(委員:経済番組を独立させては?)

・埼玉県内には大手企業の発祥の地になっているところがたくさんある。企業人のインタビューに興味があるかないかは、視聴者の好みが分かれるところだと思うので、経済番組だけを独立させてはどうか。

(委員:行政の広報担当者向けの撮影講習会を開いては?)

・J:COM 主催で、市町村の広報担当者向けに動画撮影の講習会をやってもらえないだろうか?(市町村ごとに YouTube アカウントを持っている時代なので)

・埼玉をテーマにしたアニメ番組を作ってもらえないだろうか?

→アニメだと吹き替えすればインバウンド(海外向け)に対応できるので。

## 6. 閉会(議長)

本日は各委員からいろいろな意見をいただいた。

これからもよろしく願いしたい。

これで 2018 年度放送番組審議会を終了する。

以上